

BL AUTOTEC WRIST COMPLIANCER

BL リストコンプライアンス™

自動組立の位置決め誤差修正装置

RCCデバイス

RCC-001
RCC-111
RCC-112
RCC-113
RCC-211
RCC-212
RCC-213
RCC-321

ロックアップRCCデバイス

LUR-111
LUR-112
LUR-113
LUR-211
LUR-212
LUR-213
LUR-321



www.bl-autotec.co.jp

BANDO バンドー化学グループ

ビー・エル・オートテック株式会社

2016.02

〒652-0883 神戸市兵庫区明和通3丁目3番17号

(FA営業グループ直通) TEL:078-682-2612

(代表) TEL:078-682-2611 FAX:078-682-2614

E-mail: info@bl-autotec.co.jp URL: http://www.bl-autotec.co.jp

(東京駐在員事務所) TEL: (03) 5443-1004

(名古屋駐在員事務所) TEL: (052) 857-0333

(中国現地法人) 必愛路自動化設備商貿(上海)有限公司

E-mail: info@bl-autotec.com.cn

■ご用命は下記代理店へ

※当カタログの内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。ご使用時にお手持ちの
カタログの年度が1年以上経過している場合には当社にご確認ください。

※内容の一部または全部を当社に無断で転載あるいは複製することはお断りします。

RCCデバイス

RCCデバイスはRemote Center Complianceの機能をゴム部品を用いて実用化したデバイスです。ロボットや自動組立機械のアームとグリッパの間に装着することにより、組立てられる部品間の水平方向および角度(こじり)方向の誤差を修正し、組立てを容易にします。かじりやこじりによる不良やロスタイムを減少させ機械の損傷を防止しますので、製品の品質、生産性の向上に大きな効果を発揮します。



①RCC-001-BS ②RCC-112-BS ③RCC-212-BS ④RCC-321-RH



ロックアップRCCデバイス

BLリストコンプライアンスは、ロボットや専用機での挿入作業時に位置誤差を修正するデバイスです。ロックアップRCCデバイスは従来のRCCデバイスに、フローティング状態を空気圧でロックアップする機構を加えました。挿入作業においてロボットや専用機を挿入位置まで移動させる間にRCCデバイスのコンプライアンス機能をロックさせることにより、より高速、高加速度の運転をすることができ**タクトタイムを短縮**することができます。

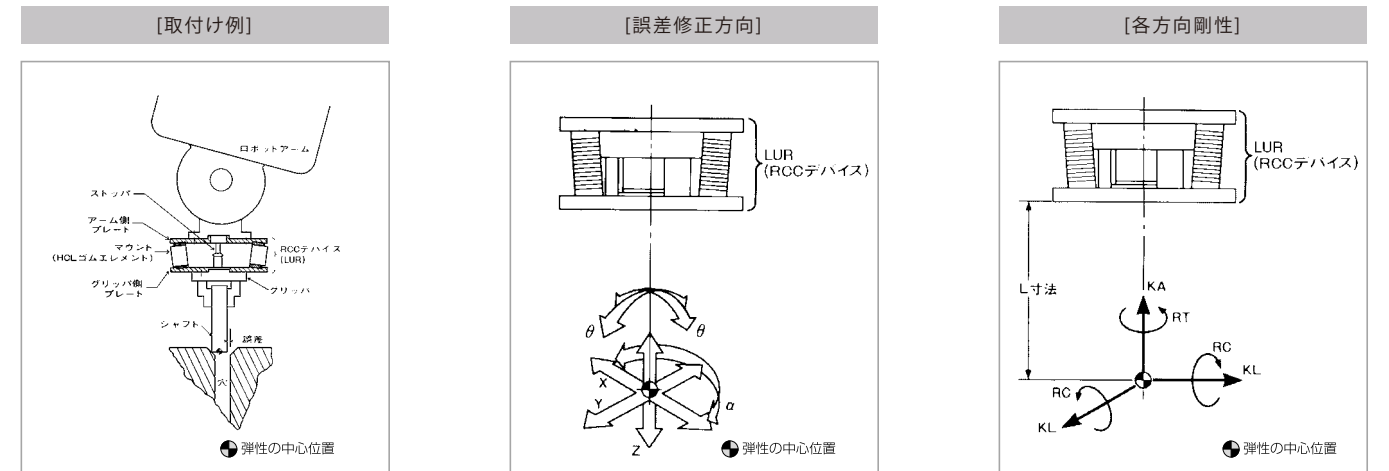


①LUR-111 ②LUR-212 ③LUR-321



Application [主な適用分野]

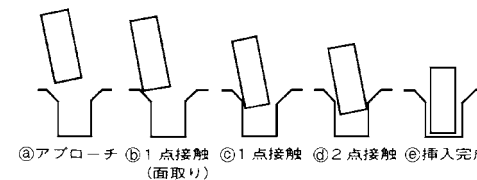
- | | |
|---|-------|
| 組立・挿入用途 | その他用途 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●VTRヘッド周辺部品の組立 ●磁気ディスク装置の組立 ●光学ディスプレイの組立 ●モータの組立 ●LSI検査設備(ローディング) ●プリント基板への部品組立 ●エンジンのバルブ組立 ●自動変速機のバルブ組立 ●オルタネータの組立 ●カーエアコンの組立 ●カーオーディオの組立 ●人工透析器の組立 ●航空機外板のドリル加工 ●航空機外板の切削・バリ取り ●リーマ通し ●ツールの位置決めと交換 ●自動計測(検査) ●金型の位置合わせ | |



Point [製品選定のポイント]

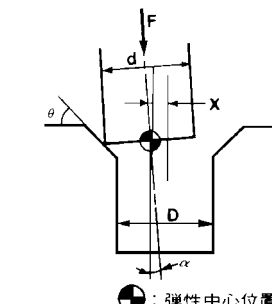
製品の選定に際しては、特に、水平方向の剛性 K_L と角度(こじり)方向の剛性 R_c が重要なポイントになります。組立を完成するために必要な K_L と R_c の値は力学的な計算により近似的に導き出すことができます。シャフトを穴に挿入する例によりそのポイントを示します。

1. シャフトのアプローチから挿入完成までのパターン



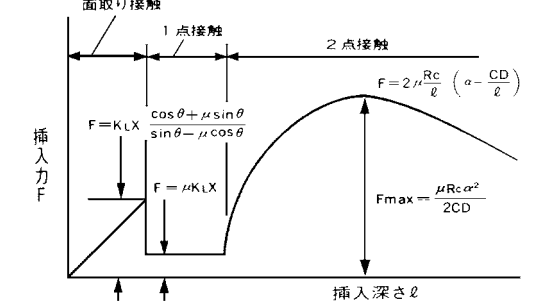
*上記で求めた K_L および R_c の値よりも小さな値をもつ(柔らかい)デバイスを使用すれば挿入を完成できます。デバイスの寸法、重量およびその他の仕様も考慮してご使用条件に最適なデバイスを選定してください。

2. シャフトと穴の誤差およびその条件の定義



F: 挿入力 [kgf] X: 水平方向誤差 [cm]
 α : 角度(こじり)方向誤差 [rad] D: 穴の直径 [cm]
 d: シャフトの直径 [cm] μ : 摩擦係数
 θ : 面取りの角度 [deg] C: 隙間比率 (D-d)/D

3. シャフト挿入力と挿入深さの関係図



4. 挿入完成に必要な K_L と R_c の値

挿入を完成するために必要な K_L と R_c の値は次の式で求めます。

$$K_L = \frac{F}{X} \left(\frac{\sin \theta - \mu \cos \theta}{\cos \theta + \mu \sin \theta} \right) \quad R_c = \frac{2CDF}{\mu \alpha^2}$$

Remote Center Complianceの原理

Remote Center Complianceの考え方は1977年に米国M.I.T.のChares Stark Draper研究所(マサチューセッツ州)において開発されました。この機構の特長は、はめ合いにおける部品間の水平方向の誤差と角度方向の誤差をおのの独自に、連成することなく、修正することにあります。この原理をシャフトを穴に挿入する例で説明します。

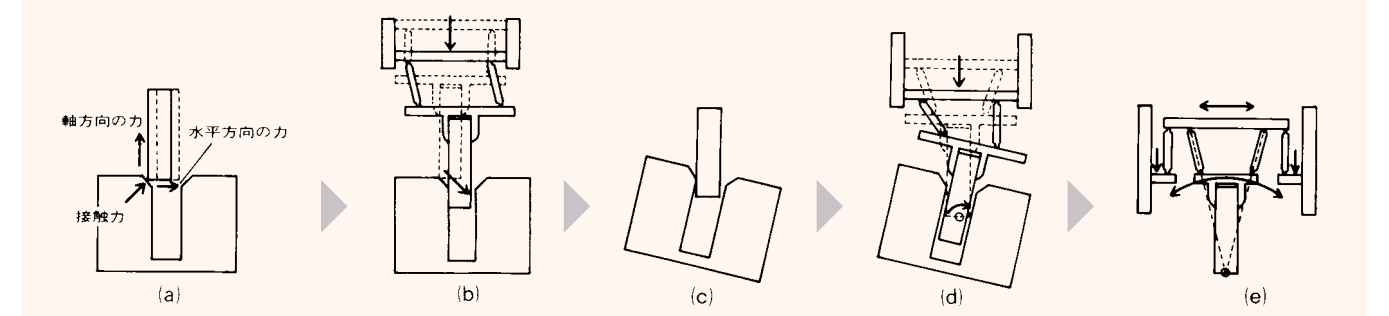
(a) シャフトと穴に水平方向の誤差がある場合、穴に面取りがしてあればシャフト先端に水平方向の分力が作用します。

(b) この力はほぼ弾性の中心に沿って作用するため、シャフトは水平方向に移動していき容易に挿入されます。

(c) シャフトと穴に角度(こじり)方向の誤差がある場合、2点の接触が生じます。

(d) 2点の反力によって生じたモーメントにより弾性の中心のまわりに回転が生じ、シャフトは穴に挿入されていきます。

(e) これら2つの自由度系を組合せたものがRemote Center Complianceの原理です。



BL WRIST COMPLIANCER™ RCCデバイス

型番	外形寸法図
RCC-001-BSL	
RCC-001-BS	
RCC-111-BS RCC-112-BS RCC-113-BS	<p>2-M5 P.C.D φ41.2 30°</p> <p>深さ 3 43</p> <p>φ22.225^{±0.07} 3.6 φ22.225^{±0.07} φ61</p> <p>2-φ5.2 反対側より φ9ザグリ穴3.8深さ P.C.D φ41.2</p> <p>(注) 上記3製品にはφ7ザグリ穴で使える六角ボルト(M5)を夫々5ヶ添付しております。</p>
RCC-211-RH RCC-212-RH RCC-213-RH	<p>4-φ5.3 反対側より φ9ザグリ穴3.8深さ P.C.D φ55</p> <p>3-M5 P.C.D φ65</p> <p>φ30E7 φ52E7 φ89</p> <p>アーム側プレート A-A グリッパ側プレート</p>
RCC-211-RS RCC-212-RS RCC-213-RS	<p>4-φ5.3 反対側より φ9ザグリ穴3.8深さ P.C.D φ55</p> <p>4-M5 P.C.D φ41.2 45°</p> <p>φ30E7 φ22.225^{±0.07} φ89</p> <p>アーム側プレート A-A グリッパ側プレート</p>
RCC-211-BH RCC-212-BH RCC-213-BH	<p>4-φ5.3 反対側より φ9ザグリ穴3.8深さ P.C.D φ41.2</p> <p>3-M5 P.C.D φ65</p> <p>φ19 φ22.225^{±0.07} φ52E7 φ89</p> <p>アーム側プレート A-A グリッパ側プレート</p>

BL WRIST COMPLIANCER™ RCCデバイス

型番	外形寸法図
RCC-211-BS RCC-212-BS RCC-213-BS	<p>4-φ5.3 反対側より φ9ザグリ穴3.8深さ P.C.D φ41.2</p> <p>4-M5 P.C.D φ41.2 45°</p> <p>φ19 φ22.225^{±0.07} φ22.225^{±0.07} φ89</p> <p>アーム側プレート A-A グリッパ側プレート</p>
RCC-321-RH	<p>4-φ6.4 反対側より φ10.5ザグリ穴5.8深さ P.C.D φ60</p> <p>4-M6 P.C.D φ60 30° 30°</p> <p>φ30E7 φ50E7 φ98</p> <p>アーム側プレート A-A グリッパ側プレート</p>
RCC-321-RS	<p>4-φ6.4 反対側より φ10.5ザグリ穴5.8深さ P.C.D φ60</p> <p>4-M6 P.C.D φ60 30° 30°</p> <p>φ30E7 φ30E7 φ98</p> <p>アーム側プレート A-A グリッパ側プレート</p>

BL WRIST COMPLIANCER™ ロックアップRCCデバイス

型番	外形寸法図
LUR-111 LUR-112 LUR-113	<p>2-φ4H7</p> <p>4-M4 P.C.D φ55</p> <p>φ65</p> <p>アンロックボルト M3 ロックボルト M3</p> <p>(ロボットフランジ取付け面)</p> <p>4-M4 P.C.D φ55</p> <p>(エンドエフェクタ取付け面)</p>
LUR-211 LUR-212 LUR-213	<p>2-φ5H7</p> <p>3-M5 P.C.D φ70</p> <p>φ89</p> <p>アンロックボルト M3 ロックボルト M3</p> <p>(ロボットフランジ取付け面)</p> <p>2-φ5H7</p> <p>3-M5 P.C.D φ70</p> <p>(エンドエフェクタ取付け面)</p>
LUR-321	<p>2-φ5H7</p> <p>3-M5 P.C.D φ70</p> <p>φ89.5</p> <p>アンロックボルト M3 ロックボルト M3</p> <p>(ロボットフランジ取付け面)</p> <p>2-φ5H7</p> <p>3-M5 P.C.D φ70</p> <p>(エンドエフェクタ取付け面)</p>